

## 活動報告書

番号

12

## 【団体の概要】

事業名：天空の庭園からのメッセージ～山の知恵と人のやさしさに出会う時間～

団体名：香美市の資源を活かす会

## 【活動の概要】

目的：森林資源と山の暮らしや知恵、「間伐や光」をテーマに学び、それらの持続と地域活性化、環境保全について今後の取り組みを考える。

内容：香美市物部町庄谷相の山を間伐して、約20年かけて造られた天空の庭園「紫翠園」にて開催。紫翠園から長年にわたり、「山の暮らしと知恵、歴史、文化」を発信して地域活性化活動を続けてきた公文寛伸氏から話を聴いた。そして、この地域の森林資源と自然のサイクルについて高知中部森林管理署から学び、森林資源と中山間地域の暮らしの持続や環境保全について意見交換をして、今後の取り組みを考えた。

成果：参加者やスタッフから、紫翠園の定期的整備支援の声が上がった。桜の木の手入れボランティアの申し入れがあり、後日、実施された。

## 【プログラム】

実施年月日：令和4年10月29日（土）

場所：紫翠園（香美市物部町庄谷相872）

日程	時間	内容	詳細
	8:30	集合、受付	香北町美良布集合後、バスで紫翠園へ移動
	9:10～9:30	開会、自己紹介、スケジュール説明	会長、園主、森林管理署署長挨拶、参加者、スタッフ自己紹介、スケジュール説明
	9:40～10:20	園主講話	山の暮らしと地域振興活動のきっかけ、これまでの地域活動について得たことなど
	10:20～11:30	園内散策、森林管理署による説明	園内に植えられている植物のガイドを聞きながら散策、間伐の現場で森林管理署からの説明
	11:30～12:10	昼食	物部町の食材を盛り込んだ「もみじ弁当」。製造は地域活性化活動グループ「おおどち食堂」
	12:10～13:30	竹細工 おやつ～アンケート記入	山の知恵で作られる竹食器づくり。皿、椀、箸、コップなどを、奥ものべを楽しむ会の指導で製作。おやつは物部地域に伝わる伝承料理、薩摩芋と里芋で作られた「けんか餅」おおどち食堂製造
	13:30～14:00	意見交換会、バス移動～解散	紫翠園や中山間地域の持続、自分たちにできること等について意見交換

（備考）高知工科大学研究連携課による、ライブ配信（スマートグラス活用）、記録動画撮影。

記録動画はYoutubeにて配信中 ※<https://www.youtube.com/watch?v=ivAxcq04XMU>

参加人数：大人 15名 ・ 子供（～17才） 0名 / 外部講師 3名 + 森林管理署3名 ・ スタッフ9名  
（工科大撮影班4名）

募集地区：	高知県全域	募集対象：	高知県下の環境・地域活動関係者、それに興味のある方
-------	-------	-------	---------------------------

募集方法：高知新聞 チラシ配布 SNS 香美市広報	参加費等：	1000円
---------------------------	-------	-------

マスコミ等での紹介例（あれば）：高知新聞記事（添付資料）

感想：

＜参加者＞ ○大変勉強になった。人工林の手入れ、山の保全について教えてもらえた。○植物の魅力も伝えて自然に興味を持ってもらうこと、直面している問題など教えていただくと勉強になりました。○次世代の子供たちにどんどん山の生活、知恵を教えてもらいたい ○補助金など活用して草刈りや整備に使って持続してほしい。関係者だけではいきづまりになると思う など

＜スタッフ＞ ○知恵や文化はインターネットが普及しているので動画やデータで遺す ○場所は他人を温かく受け入れる環境づくり ○1日のイベントも良いが、宿泊のイベント開催をしたい ○スケジュールがタイトだった など